

「SDGsジェンダー平等と女性・少女の エンパワメントとKFAWの活動」 ～誰一人取り残さないために～

地方創生 × SDGsセミナー

「地域の取組みが世界を変える
～「産官学民」のSDGs取組事例を中心に～」

07/30/2018

(公財)アジア女性交流・研究フォーラム理事長
堀内 光子



HIGH-LEVEL POLITICAL FORUM
ON SUSTAINABLE DEVELOPMENT

KFAW～誕生から地方創生目的 女性のパワーが源



(1985年第3回国連世界女性会議からのインパクト)

●1989年9月 **ふるさと創生事業**としてKFAWを選定
(101件提案)

●1990年10月20日 設立総会

●1993年10月1日 財団設立

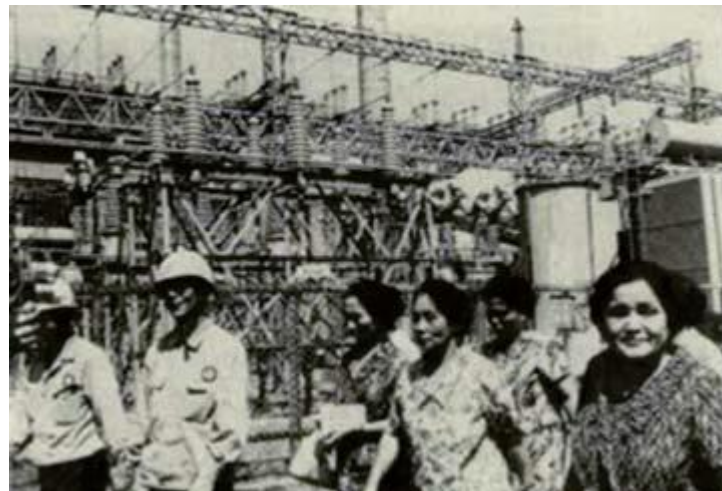
●1995年 北九州市立女性(2002年男女共同参画に改称)
センター(愛称ムーブ)開設 (KFAWが指定管理者)

●女性団体が集めたおよそ3200万円の寄付

●パブリック・プライベート・パートナーシップの成果

歴史的背景-国連、環境保全と女性運動

1. 第3回国連世界女性会議(ナイロビ)のインパクト
(NGOフォーラムへの出席)
2. 青空がほしい運動
(90年代初めESCAP「環境と女性専門家会合」で私が紹介)



戸畑区婦人会協議会制作8ミリ映画「青空がほしい」

KFAWの目的と原則



1. 目的

日本およびアジア地域の女性のエンパワーメントと男女共同参画の実現

2. 原則

- 市民の参加
- 女性問題への総合的接近
- 新たな都市個性の創造
- グローバルな視点確保

アジア地域の多様性を尊重しつつ、国連のジェンダー目標「平等・開発・平和」の実現への貢献

KFAWの活動



●調査・研究事業

2017～2018年度

「SDGsとジェンダーの主流化」(客員研究)等

●交流・研修事業

アジア各国の女性団体等との交流

途上国のジェンダー平等担当行政官研修(JICA受託事業)

●情報収集・発信事業

機関誌・年報の発行

●国際ネットワーク

海外通信員制度

●国連活動への協力・貢献

国連ジェンダー統計専門家会合の共催(2014)

国連女性機関日本協会北九州支部事務局を担当



KFAWの活動とSDGs

●まずは啓発

2016年11月アジア女性会議(シンポジウム)のテーマ

「"誰一人取り残さない"世界の実現～SDGs(持続可能な開発目標)の達成のために何ができるか」

～人権と取り残されがちな人々に焦点

～日本も対象のユニバーサルなグローバル目標

CEDAW

(国連女子差別撤廃委員、弁護士

林 陽子氏基調講演)



KFAW の活動とSDGs①



● ジェンダー平等とエンパワーメント

1. 啓発・意識向上

KFAWホームページトップ画面



2. ゴール5

5.1 差別の撤廃—意識啓発

2018年10月女子差別撤廃委員会(CEDAW)シュルツ委員講演予定

5.2 暴力の撤廃—相談事業、研究

女性への暴力ゼロ！ホットライン、DV防止講演会、デートDV予防教育など

KFAW の活動とSDGs②



5.4 所帯・家族内の責任分担を通じた無報酬の育児・介護・家事労働の認識・評価(男性のエンパワーメント)

【2017年度参加人数】

エプロン男子:128人、おとこの魅力アップシリーズ:179人、
介護男子:24人

5.5 意思決定レベルの完全・効果的な女性の参画・リーダーシップの機会の確保 —「働き女子の夢を叶えるキャリアアップ講座」

5.6 性と生殖に関する健康・権利への普遍的アクセス —レディスの講座

5.b ICT等の活用の強化 (コンピューター講座) — レディスでの研修

「働き女子の夢を叶えるキャリアアップ講座」



経済エンパワーメントの構築・向上 ～技能の取得、就職支援する様々な講座を開講

ムーブ・女性のための就職応援講座～
ものづくりの街・北九州でやりがいのある仕事を求めて～



レディスもじ 資格・技能取得講座



行政書士入門講座



給与計算・社会保険事務講座

男性の育児・介護・家事への エンパワーメント



子育て支援事業
「パパと仲良しピザづくり」



介護男子
～いざとなったらどうする？～

防災を考えた住民参加のまちづくりへの貢献



1. 仙台への視察研修・学び
2. 高見地区Bousai会議（高見まちづくり協議会主催）
 - 目的は自分達の地区から自然災害の犠牲者を出さないこと。
 - そのためには、**ジェンダー平等参加・女性への配慮が必須**
 - ・ 地域の防災計画・避難所運営計画・避難訓練計画づくり等の意思決定の場に女性が多数参加すること、
 - ・ 女性の視点に基づいた計画づくりや運営がなされること
 - 上記の視点を踏まえて、すべて地区の住民のよる話し合いで、防災訓練の実施、住民による防災会議の開催、防災計画を策定した。

国際協力:途上国・経済移行国の行政官に 対するジェンダー主流化の研修



1. 証拠に基づく政策推進のための
データ・統計整備
2. 世界の政策課題の取り込み
 - A. ジェンダー平等関連人権の主流化
 - B. SDGs等国連の開発目標の実施
 - C. ジェンダーに敏感な予算策定
3. 日本国内での政策実践例から学ぶ
災害対策、男女共同参画、保育・教育、
暴力予防・被害者への対応(特に配偶者からの)
4. 主流化の実質的課題
経済政策へのジェンダー視点の組み入れ等





課題

1. ジェンダーの主流化

SDGs全目標へのジェンダー視点の組み入れ

2. 若者の参加

3. 女性の意思決定レベルの参加とエンパワメントの強化